

	意見の概要	町の考え方	担当部
議案(1) No. 3 みんなが生涯活躍できるまち	障害者福祉の充実や、健康寿命の延伸に対する取り組みは、当然必要ではありませんが、現在高齢者の大半は、自発的に体操や、スポーツ、ウォーキングを行い、健康に関する意識は非常に高いと思われる。生涯活躍とは、単に健康な高齢者が増加するとい事ではなく、「生きがい・生きる楽しみをもって暮らす」高齢者が地域に溢れる事だと感じます。地域の農業や商業と連携した高齢者の働き場の提供（社会の中で役立っている）などが必要と感じる。	施策4-1に記載のとおり、働く場の創出など住みやすい環境の整備を進めてまいります。	健康福祉部
	施策3-3、QOLの向上に関し、最近社会問題としてクローズアップされている「ヤングケアラー：家族の介護、身の回りの世話等を担っている18歳未満の子ども、特に1人親と暮らしている子どもに多い」について河南町でも実態把握必要かも知れません。	実態把握については、今年度に厚生労働省が調査を予定しておりますので、その結果をもって個々の事案に応じた支援策を検討してまいります。	教・育部
	人口減少が少なくなった・・・の原因調査が必要だが、第二子以降の園児無償化が大きいと予測する。予算が許すなら全園児無償化なら人口増が可能かもしれない。	子育て政策については、重要と考えており、今後財源等も含め検討してまいります。	教・育部
	・高齢化に伴い、農業作が困難となっている。 ・何らかの助成が欲しいが、頼む先がない。公的にパートの斡旋したらと考える。	本町にて直接パート等の斡旋は難しいと考えますが、関係機関等の連携も含め、どのような対応が可能か、今後の課題とさせていただきます。	まち創造部
	・KPIの設定根拠の説明がないので、数値等の妥当性について判断できない。	KPIについては、実績等を踏まえ設定しております。	総合政策部
	政策No. 3 みんなが生涯活躍できるまち 1 意義 2 目標 ・政策目標として「みんなが生涯活躍できるまち」を目指します。 ・施策の具体目標として「障がい者福祉・自立支援の充実」を図ります。 「めざせ健康寿命 No. 1」です。 「QOL (Quality of Life) の向上」をすすめます。 「地域の創意工夫ある取組みの促進」をはかります。 「生涯学習の推進」です。 「人権尊重・平和の推進」をすすめます。 「男女共同参画社会の実現」をはかります。 ・その後「KPIの数値目標」を明記する 3 取組みの方向性 以降そのまま記載	ご意見を踏まえ、レイアウトを変更することとします。	総合政策部
	(案)に記載されています「障がいの程度等に応じた就労支援に取り組みます」では、単なる障害区分(身体・知的・精神等)のみで、就労先や職種などが決まってしまうような印象をもちました。少し文字数は増えますが、内閣府の障害者白書(別添参照)に記載されている事を参考にして「希望や能力、適性を十分に活かし、障害の特性等に応じた就労支援に取り組みます」との修正を提案します。	ご意見のとおり修正します。	健康福祉部 まち創造部
	KPIの健康な高齢者割合の増加目標と、高齢者人口に占める要支援、要介護者の割合の増加が目標であるという点が、理解しにくいように思います。	要支援・要介護認定者の割合は、高齢化社会が進行していく関係上、ますます増加していくことが予想されています。この増加率を鈍化させる必要があるため、目標設定したものです。	健康福祉部
	・生涯スポーツの取り組み(特に女性のスポーツへの参画支援) ・町民体育大会他スポーツイベントの復活開催(ファミリーマラソン大会、ソフトバレーボール大会、玉入れ大会、綱引き大会)他	・施策3-2、3-5に記載のとおり、女性を含む住民がスポーツに親しみやすい環境作りを進めてまいります。	健康福祉部
	3-1の(2)又は3-6の(2)の①のどちらかに追加 ・「ヘルプマーク」し(赤字に白い十字)の周知をはかります。 (具体的な施策かと思いますが)	ご意見は個別計画等の参考とさせていただきます。	健康福祉部
「障害」概念について 「障がい」は、今から20年以上の前から東京都のある自治体で使用して以来全国の自治体に流布したが、宝塚市の「障碍」表記への変更などにみられるように混乱・迷走しています。「障害」は、生理的、能力的、社会的なハンディキャップのことで決し、決して差別用語ではありません。せめて「障がい者」改め「障害のある人」、「障害福祉」と表記されたい。皆さんで議論したい。(P. 25, 以下3. 取組みの方向性) 2 日本人は集団活動は得意だが、個別の自己開発が弱い。よって高齢者が自ら積極的に「自己開発健康プログラム促進」の機会を広げる啓蒙活動推進策を謳って欲しい。(P. 30-P. 32関連)-施策3-2, 施策3-3 3 市民組織としての社会福祉協議会の自立度を高めるための方策もう少し強調地域の自治会以外の創意工夫による地域づくりの開発、生涯学習における大学以外にも小・中・高校生などとの「世代間交流促進」も対策に。(施策3-3QOL政策-3-4, 3-5) 4 審議会のみならず、議会や行政領域など、各団体・組織での女性の参画の促進を強調されたい。特別にパリテやクォーター制と言わなくてもせめて。(政策3-7 政策の展開 p. 41)	1 表題や見出し等については「障がい者」と、文中については「障がいのある人」と表記しています。 2 施策3-2に記載のとおり、健康教育等を通じて、健康管理の重要性等について、引き続き啓発してまいります。 3 施策3-4に記載のとおり、地域コミュニティによる地域の活性化を支援します。施策3-2に記載のとおり、世代間交流を促進します。 4 施策3-7に記載のとおり、引き続き審議会等への女性の登用に取り組みます。	健康福祉部	
1 保健福祉、福祉サービスの充実をメインとしてすべて健康寿命を延ばすことに全力で対応する。 2 南海トラフを始め、自然災害対策が急務である。自主防災組織を活用するなど、地域住民の安全を確保するための対策が求められる。	ご意見のとおり、取り組んでまいります。	健康福祉部	

議案(2) No.4 快適で賑わいのあるまち	「持続的な農林業を推進…」という施策の項目がありますが、「快適で賑わいのあるまち」との政策テーマとは。違和感がある。	町の主要産業でもある、農業の振興を図ることは、町全体の発展につながり、ひいては快適で賑わいのあるまちの実現に資すると考えます。	まち創造部
	活力あるまちづくりとして、施策4-1 移住・定住促進を強化する取り組みを是非とも実行願いたい。 施策4-3 都市的土地利用と農地的土地利用の調整を図りつつ産業誘致を進めることが重要で、今までネックとなっていた市街化調整区域の線引きの見直しが必要と思う。	ご意見のとおり、移住定住の促進や地域の活性化につながる土地利用の誘導を進めてまいります。	まち創造部
	農業振興の為に里道の拡幅整備も優先順位の中に入れて頂きたい	今後の課題とさせていただきます。	まち創造部
	・KPIの設定根拠の説明がないので、数値等の妥当性について判断できない。	KPIについては、実績等を踏まえ設定しております。	総合政策部
	政策No.4 快適で賑わいのあるまち 1 意義 2 目標 ・政策目標として「快適で賑わいのあるまち」を目指します。 ・施策の具体目標として「移住定住促進」を図ります。 「持続可能な農林業等の推進」ですすめます。 「産業の振興・ブランド力の強化」をはかります。 「大学・企業等との連携推進」をはかります。 「まちの姿の創出（インフラの整備）」おこないます。 「地域公共交通の充実」をはかります。 ・その後「KPIの数値目標」を明記する 3 取り組みの方向性 以降そのまま記載	ご意見を踏まえ、レイアウトを変更することとします。	総合政策部
	府道について「交通量に見合った幅員の拡張や歩道の設置等について要望してきました。」とあるが、成果が出ているのでしょうか。大阪芸大前の交通量の極めて多いアクセス道路には歩道がない危険な状態が半世紀以上も放置されています。	府道については、要望に基づいて整備の行われた箇所もあり、一定の成果があったと考えます。引き続き、施策4-5に記載のとおり、交通量等に見合った幅員拡張や歩道整備を働きかけてまいります。	まち創造部
	KPIにふるさと納税に係る地域貢献額の増加を挙げているが、これに係る施策の具体的記述が少ないように思う。増加額も大きな金額でなく、KPIとして列挙する意味があるかどうかの検討が必要と思われる。	町としては、産業振興の観点から、ふるさと納税を重要視しており、KPIについては記載のとおりとさせていただきます。	総合政策部
	・リゾートホテル 宿泊施設の建設、誘致 ・歴史的資源（日本遺産）他への観光客誘致 ・スポーツ大会（全国大会規模）の開催、選手の招へい ・登山客の招へい（ダイヤモンドトレール他） ・地元農産品での料理提供 ・地元農産品、工芸品等、みやげ品の販売 ・ワールド牧場との提供、遊園地の招へい （大阪府や近隣市町村と連携し、スポンサー（近鉄グループ他）を見つけ、観光客の受入環境の整備を行う。）	ご意見は個別計画等の参考とさせていただきます。	まち創造部
	金山古墳一体を大規模自然公園にし、遊歩道、屋外ステージを整備する。	ご意見は個別計画等の参考とさせていただきます。	教・育部
	309号線東板持周辺にユニクロ、GUそれにスーパートライアルが出来、賑わっていますが、この延長にある「道の駅」やスーパーオークワまで人を引き込む魅力的なもの、例えば道の駅では、特産品の販売やオークワ駐車場での博物館や芸大のイベント、フリーマーケットの開催を考えてみるのも面白いのではないかと考えます。	ご意見は今後の取り組みの参考とさせていただきます。	まち創造部
1 リモートワークやワーケーションに入る時代、それを活かしての移住定住促進策を上げて下さい。（政策-4-1, P.46, P.70関連） 2 新たな農業の担い手、農業希望者への貸農園や農地解放対策を上げて下さい。（P.49）	ご意見は今後の取り組みの参考とさせていただきます。	総合政策部 まち創造部	
人口が右下方がり減少し、活力が失われつつある。役場周辺及び「かなんピア」を含めた相当広い範囲を市街化区域に編集し、大規模開発（マンションを含む）を促進し、活性化を図る。 大都市圏まで1時間圏内、公営では珍しい温水プール、かなちゃんバス（デマンド）を活用する。	ご意見は今後の取り組みの参考とさせていただきます。	総合政策部 まち創造部	

議案(3) No.5 自然と歴史に囲まれたまち	単に観光PRや景観保全などを考えるより、農業体験会や、近鉄・金剛バスと共同企画のハイキングを計画するなど、そのコンテンツ(楽しい・美味しい・感心する)に注力すべきと考える。	ご意見は今後の取組みの参考とさせていただきます。	まち創造部
	自然豊かな山河と古来から受け継いだ歴史的遺産、景観を保全し、後世に残すことは我々の責務であるが、担い手は地域住民によるボランティア活動である。その担い手の多くは高齢者に依存しており、ボランティア活動の後継者対策が課題である。	ご意見は今後の取組みの参考とさせていただきます。	まち創造部 健康福祉部
	各峠道に桜を植えて、マスコミ等に取材に来させたい	ご意見は今後の取組みの参考とさせていただきます。	まち創造部
	・KPIの設定根拠の説明がないので、数値等の妥当性について判断できない。	KPIについては、実績等を踏まえ設定しております。	総合政策部
	政策No.5 自然と歴史に囲まれたまち 1 意義 2 目標 ・政策目標として「自然と歴史に囲まれたまち」を目指します。 ・施策の具体目標として「自然と歴史」をアピールしていきます。 「美しいまちかなんを守る」政策をすすめます。 「地球温暖化対策の推進地域」をすすめます。 ・その後「KPIの数値目標」を明記する 3 取組みの方向性 以降そのまま記載	ご意見を踏まえ、レイアウトを変更することとします。	総合政策部
	河南町らしさを語る上で農村集落の風景は観光的にも、また宅地としても優れた資源であると考えられ、古代ロマンと環境共生と関連させ、農の循環型社会のモデル地域として外にアピールできないか。保全だけでなく不動産や観光ビジネスと関連させる視点を要望する。	ご意見は今後の取組みの参考とさせていただきます。	まち創造部
	休日の滞在人口の増加がKPIである意味が理解しにくいです。	観光振興を進めるにあたり、町への来訪者の増加度合いを測る指標として、設定しています。	まち創造部
	・リゾートホテル 宿泊施設の建設、誘致 ・歴史的資源(日本遺産)他への観光客誘致 ・スポーツ大会(全国大会規模)の開催、選手の招へい ・登山客の招へい(ダイヤモンドトレール他) ・地元農産品での料理提供 ・地元農産品、工芸品等、みやげ品の販売 ・ワールド牧場との提供、遊園地の招へい (大阪府や近隣市町村と連携し、スポンサー(近鉄グループ他)を見つけ、観光客の受入環境の整備を行う。)	ご意見は今後の取組みの参考とさせていただきます。	まち創造部
	歴史資料館、又は郷土資料館を使っていない建物に展示等を行う。	ご意見は今後の取組みの参考とさせていただきます。	教・育部
	5-2の(2)「良好な景観の保全」に追加 ・竹林の拡大を防ぎ、山や林の景観を守るとともに、竹の活用に努めます。	個別具体的な内容であるため、今回の計画への記載は致しませんが、ご意見は今後の取組みの参考とさせていただきます。	まち創造部
1 目標のKPIに「ソーラーパネル設置数」やその他自然エネルギーに関する数値目標を入れて下さい。 2 太陽光発電や水力発電など小型でも活用できる自然エネルギー対策の促進(P.67, P.69)	町が支援を行うもの以外の把握が困難なため、今回のKPIにはしておりません。なお、自然エネルギーについては、施策5-3に記載のとおり、普及促進に取り組んでまいります。	まち創造部	
本町には多くの歴史的資源が存在する。 現在利用を検討中の旧白木小学校跡地を、これからの歴史遺産の展示、保存及び発掘した遺跡の収納場所として活用できないか。展示物を直接手で触れるなど、教育の場として提供することも考慮。	ご意見は今後の取組みの参考とさせていただきます。	総合政策部 教・育部	

議案(4) No.6 一歩先を行くまち	やはり、「一歩先を行くまち」を標榜する必要があるのか疑問。単に、「マイナンバーカード100%の普及を目指す」と全国一を目指し、そのために何をやるのかを検討する事でも良いと思う。	マイナンバーカードの活用を含め、IT技術を広く活用することにより、利便性・効率性の高い行政を目指すという趣旨での政策名としています。	住民部
	可能な限り印鑑の廃止とマイナンバーカードの有効活用による行政サービスの効率化を推進すること。	ご意見は今後の取組みの参考とさせていただきます。	総合政策部 総務部
	本年、大室1丁目の班長をしているが、①回覧配布の情報のかなりがネット化できると思う。閲覧すると確認の情報管理も可能。②町会費集金時睨むように渡されたり、何度も訪問したができずにも起こる。自動振込み制度が作れないか。③かなん便り等の配布が人海戦に成っている、機械化が必要。	個別具体的な内容であるため、今回の計画への記載は致しませんが、ご意見は今後の取組みの参考とさせていただきます。	総務部
	・KPIの設定根拠の説明がないので、数値等の妥当性について判断できない。	KPIについては、実績等を踏まえ設定しております。	総合政策部
	政策No.6 一歩先を行くまち 1 意義 2 目標 ・政策目標として「一歩先を行くまち」を目指します。 ・施策の具体目標として「最先端技術の活用による行政効率化及びサービスの向上」を図ります。 「電子化の推進」をすすめます。 ・その後に「KPIの数値目標」を明記する 3 取組みの方向性 以降そのまま記載	ご意見を踏まえ、レイアウトを変更することとします。	総合政策部
	行政サービスのデジタル化は当然ですが、例えばITの活用によって農業活性化センターにおける地元農産物や加工品の販売を促進するなど、ビジネスと関連させる視点が必要。	政策4-2に記載のとおり、農業におけるITの活用などを支援します。	まち創造部
	ドローンの導入活用	ドローンを購入しており、積極的な活用を検討してまいります。	総合政策部
	電子図書館に移行する。	ご意見は今後の取組みの参考とさせていただきます。	教・育部
	行政の効率化に関して、定数減による議会のサポート体制としての市民会議等の検討を進めて戴きたい。また開かれた町政への市民の意見を吸い上げる機会の設置や市民オンブズマン体制など。	住民協働のまちづくりの推進に向け、住民参画の機会の充実を図ってまいります。	総合政策部
	16,000人程度の人口で、IT化、電子化を進めるなどおよそ非効率、費用対効果に限界がある。快適で賑わいのあるまちの範疇であるが、老朽化が進んでいる「かなんピア」の施設をリニューアル、ボイラーの規模を拡大、プールを増設し、増え続ける会員の需要に答える。	小規模市町村であっても、デジタル化による行政の効率化は必要と考えます。なお、他市町村との連携を含め、限られた費用で最大限の効果が得られるよう、取組みを進めて参ります。	総合政策部 総務部

その他	<p>「まちづくり会議」の資料全体において、気になっていたのは、「KPI」です。私は、これまで仕事の中で「KPI」は、あくまで行動指標であり、その目標は「KGI」と認識していましたが、資料にある「評価の指標」(KPI?)は、達成すべき目標との記載もあります。本当に、この各項目を達成することが、「河南町のまちづくり」が目指すものなのであるか、今一度、議論の余地があると感じます。</p>	KPIについては、実績等を踏まえ設定しております。	総合政策部
	<p>町民が壮年期に行事等が多くある。夫婦共働きの時代に、自宅は安息と休養の場のみ、煩わされることが多く、これが一因になって、市内に転居する人も居ると聞く(転居理由情報なしなので正しくないかも?)困った住民がサポートされることと困ってない人が雑務に煩わされないことも必要。</p>	多くの住民が地域活動へ参加することは、住民参画の活性化に繋がるものと考えておりますが、ライフスタイルが多様化している中での課題点も認識しております。	総務部 総合政策部
	<p>・親も介護認定5になり家で介護も難しくなっている ・施設の入居も順番待ちということであるが、もう少し早く入居できる方向で願いたい。</p>	施策3-3に記載のとおり、利用者のニーズにあったサービスを提供できるよう、介護サービスの充実に取り組みます。	健康福祉部
	<p>・各施策の紹介ページ毎に既存の目玉事業のイメージが湧くよう、写真やイラスト・図を記載すべき。 ・QOL(生活の質)など、説明が必要なキーワードが散見されるため、巻末に用語説明が必要</p>	以前からご説明していたとおり、パブリックコメントの際は素案のとおり写真等を挿入するとともに、脚注を追加しています。	総合政策部
	<p>前回の資料も含め、非常に細かくプランを練られています。外部者の私から見ると「これらをやりきるの大変だ」と感じます。ただ、その一方で「河南町色」というものが希薄という印象も強いです。富田林や羽曳野に囲まれ目立たないけれど、違った特徴もあると思います。そこを強調して施策を練った方がよいとも感じます。大阪市内に住んでいるからこそ、河南町の独自性に期待してしまいます。</p>	町の最上位計画であるため、特定の分野・施策を大きく取上げることは困難であると考えます。なお、施策4-1に記載のとおり、より多くの人に本町の良さを伝えるため、情報発信等の強化を図ってまいります。	総合政策部
	<p>政策No. 1、2についても意見あり。 政策No. 1 安心・安全に住めるまち 1 意義 2 目標 ・政策目標として「安心・安全に住めるまち」を目指します。 ・施策の具体目標として「防災等への備えの充実」を図ります。 「地域の防災力の強化」をすすめます。 「防犯力の強化」をすすめます。 「消費者保護の推進」をはかります。 「交通安全対策」に努めます。 ・その後に「KPI」の数値目標を明記する 3 取組みの方向性 以降そのまま記載 施策1-1. ~ 政策No. 2 子育てしやすいまち 1 意義 2 目標 ・政策目標として「子育てしやすいまち」を目指します。 ・施策の具体目標として「母子健康事業の充実」を図ります。 「子育て支援の推進」をすすめます。 「地域ぐるみの子育ての推進」をすすめます。 「教育の質のさらなる向上」をはかります。 ・その後に「KPI」の数値目標を明記する 3 取組みの方向性 以降そのまま記載</p>	ご意見を踏まえ、レイアウトを変更することとします。	総合政策部
	<p>地方創生SDGsの持続可能なまちづくりの認知は、まだまだ広がっているとは言えないのではないか。国レベルの共通指標から河南町のローカル指標が必要で、今回の計画書は、新しいまちづくりの視点で理念を活用して進めるとあるが、人権や地球温暖化対策の推進などに文言はあるが、SDGsのどの要素について河南町は優れている、またどの要素が遅れているのかを自己評価すべきではないかと思う。</p>	持続可能な地域社会の実現を目指し、SDGsの目標を踏まえた行政運営を目指していくことは重要と考えており、今後の進め方を検討してまいります。	総合政策部
	<p>以前の会議でも申し上げたいと思いますが、あまりに網羅的であり、どこに重点を置くのかが不明確だと考えます。取り組みや施策の優先順位付けについては本会議の目的ではないとしかいすればよいでしょうか。また、各種の政策においては「～対策をすすめます。」「充実に取り組みます。」「支援に取り組みます。」などの表現が大半であり、施策が具体的にされているとは言えません。なお、具体化についても本会議の目的ではないというのであれば本案で結構かと思えます。</p>	本計画は町の最上位計画であり、まちづくりに係る幅広い分野をカバーする必要があります。さらなる具体的な内容については、個別計画等で検討してまいります。	総合政策部
	<p>役場前の歩道にある大きな木(東側)にイルミネーションを設置して、イメージアップをはかる。12月1日から12月25日まで。</p>	ご意見は今後の取組みの参考とさせていただきます。	まち創造部
	<p>竹林の拡大防止と竹の活用について 1 「メンマ」づくり 地上に出たての若い竹の子を使ってメンマづくり道の駅で商品化→販売 ※福岡県糸島市で実践されているようです。 2 竹製品づくり 生活用品(ザル、カゴ、シャモジ、パーパーナイフetc)、花器、玩具、インテリア、照明器具etc</p>	ご意見は今後の取組みの参考とさせていただきます。	まち創造部
<p>・政策NO.6-「最先端のまち」より「一歩先へ行くまち」へのロゴが良い。 ・まちづくりプラン全体のプロセスの中でPDCAの内、チェックつまり 評価項目が大事になります。年次共通の物差し(尺度)をおつくり下さい。KPI項目だけでなく、それが各期の年次計画の進捗状況判断となります。</p>	KPIについては、年度ごとにPDCAを実施する予定です。	総合政策部	
<p>市街化区域への編入は、大阪府の意向が厳しいなど、始める前から及び腰では、何にもできない。</p>	施策4-5に記載のとおり、地域の活性化につながる土地利用の誘導を進めてまいります。	まち創造部	